

# 10年目の震災後論

(4)

東日本震災後、燃素が濃く誘致されていた。当初人も多弁になる人も、はみんなが、自分も当事者

す。心の余裕ある種の「ため」を失った私たちは、他者を敵味方では、生きつらさ、愚言したを敵のせいにして解消するようになって

ける意を忘れてしまい、あらゆる言葉が「どちらの陣営か」で回収されるようになった。今はその極北まで来ている印象です。

その知的資本から疎外された人のことをまっく想像できない。だから、なせその立場や愚態にアテンドを置くのかを、まず自分自身から問い直すことが大切



◆平教兼七文讀見安  
「写真と陶芸展」(平教兼七文讀見安の著作)が、10月18日

平教兼七が生前、親父のあつた陶芸家の讀見安の創作活動を記録した写真と共に、1冊の讀見安の陶芸作品を展示する。

◆選書 第一、  
30日付です。

# 文化

## 安倍政権との違い

安倍政権のメディア戦略の特徴は、「隠す・隠蔽化」することによって対話を成立させず、結果として「異論を排す」ことにある。それに対し現政権の特徴は、目撃する結果は同じであるものの、より強硬的に抑え込む傾向が強い。それは、ボロエリズなところ



記者会見と質問に答える首相。2020年12月25日、首相邸

て政権の安定を図った。これに対し現政権は、表面上はそうした峻別を行わず、広くメディア全体に網をかける戦略だ。身近な担当記者を中心に支配関係を作ることで、全体を「アタマ」化するといったところ

者と呼ばれる首相担当記者が、原宿で首相を囲んでのバンケット茶話会を行った(朝日、東京、京都の各新聞は欠席したと伝えられている)。その直後に実施されたのが、談話の結果として見えないような「インタビュー」だ。特定記者との質疑応答に、他の内閣記者

活用すれば追及も可能。実際、努力の跡が多少は伝わった面もある。しかし全体としては、首相の発言や回答の齟齬を突いたりするものではなく、記者会見を聞いていないという批判に答えるため、高橋側と折り合いをつけた結果であろうが、こうした機会を濫用できず、説明の場が終わらせてしまった感拭えない。今回は公開されたものの、通常は非公認でこそ行われる

「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧

「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧

「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧

「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧

# メディア時評

(1月)

山田健太

7日、首都圏では新型コロナウイルス感染症に係る2度目の緊急事態宣言が発令された。解除されて以来、必ず半年を経たが、その時の違いは、発令主体である政権が代わっていること

もよみ、万人受けする政策(携帯電話料金値下げなど)による印象操作と、ネットでもっとも、強面が隠されることにより成立している。

日本学術会議も年を越えてすっかり社会の話題から消えてしまった感があるが、ここでも首相主導の議題設定が功を奏している。本来の「学問の自由」からの、巧妙に土儀を委縮する

たメディアに対して、も、政権の旺である「人による支配」の徹底が見取れる。前政権は意図的に「親と反」のメディアに二分し、社会の分断化によ

「成功体験」  
そして政権始動間もない10月3日、学術会議問題が炎上している最中に、番記

## 菅政権のメディア戦略

# 担当記者中心に支配関係

## 「官製報道」のまん延危惧

「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧

「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧

「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧

「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧

「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧

「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧

「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧

「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧

「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧

「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧

「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧

「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧

「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧

「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧

「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧

「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧

「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧

「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧

「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧

「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧

「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧

「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧

「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧

「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧

「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧

## 官邸の取材・報道

この種の報道が、とりわけ、首相官邸に集まるのは、まさに緊急事態宣言中だからだ。緊急事態宣言では、移動・集会の自由が制限され、市民生活に大きな影響が出るほか、取材や報道も大きな制約を受けることになる。正しい必要な情報が迅速に読者・市民に届くようになり、知る権利が大きな制約を受けることになるわけだ。

さらにコロナ特措法の定めに従って、首相や知事からの「指示」によって、テレビ・ラジオは具体的な報道内容についても、政府の意向を反映させる必要が出てくる(現時点ではNHKのみが対象だが、民放や新聞も政府次第で指定公共機関になりうる)。

通常から実施していることではあるが、政府や民間がこうした報道内容を詳細にモニタリングしている。そして昨春には、テレビ朝日やTBSの個別番組内のコメント内容に対し、政府の公式Twitterアカウントで批判したり抗議したりするといった事態があった。これが、抗議では

「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧

「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧

「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧

「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧

「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧

「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧

「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧

「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧

「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧

「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧

「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧

「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧  
「官製報道」のまん延危惧